

**救援物資の受付件数  
(4月15日現在)**

食糧	インスタントめん 215個 ほか
水	2リットルペットボトル 210本 ほか
紙おむつ	大人用378パック、 子ども用80パック ほか
毛布	103枚

※その他、医療品や日用品類も多数届けられました。

3月25日から受け付けを開始した救援物資。市民の皆さんからの温かい支援により、食料や紙おむつなど多くの物資が集められました。ご協力ありがとうございました。皆さんからご提供いただいた物資は、4月7日、いきいき・元気サポーターの協力のもと、トラックへの搬入作業を行い、宮城県石巻市の被災者へ届けられました。なお、救援物資の受け付けは、4月30日で一時休止としました。

**救援物資で被災者に笑顔を**



いきいき・元気サポーターによる物資の搬入

**被災者の受け入れおよび生活支援**

市では、一時避難所を開設し避難者の受け入れを行ってきました。さらに、市民の皆さんのご厚意による無償提供住宅の登録を行っています。

また、被災された児童・生徒に対して公立学校への受け入れや就学援助も行っていきます。

○市内の親族宅などに個別に避難されている方の情報も収集しています。避難されている方は至急ご連絡ください。

**市民の皆さんに安心・安全を**

**市内の被害状況**

内容	件数
人的被害(けが人)	4
物的被害(屋根瓦、塀、外・内壁など)	985
漏水	10
液状化	1
道路の亀裂	2
合計	1,002



震災直後の市内の様子

**市内被災者への対応**

被害に遭われた市民の皆さんのために、市では迅速に次のような対応を行いました。  
○高齢者や障害者などの安否確認をはじめ、避難所の開設、ライフラインの確保および危険箇所の把握。  
○小針焼却場建設予定地で、がれきや廃材の無償引き取りを開始。  
○家屋が被害を受けた場合、必要な方に對し、「り災証明書」を発行。



小針焼却場建設予定地に運ばれたがれきや廃材

**大地震に備えて**

昭和56年以前に建築された住宅は耐震性能が低く、大地震の際には倒壊してしまふ恐れがあるため、市では木造住宅を対象に簡易な耐震診断を無料で行っています。

**今できることから始めましょう**

**節電にご協力を**

震災直後行われてきた計画停電でしたが、東京電力(株)では「今後、原則行わない」と発表しています。電力を多く消費する夏場でも計画停電が行われないように、引き続き節電を心掛けましょう。

**平常な生活に**

私たちは被災者の状況を考え、さまざまな活動やイベントを自粛してきました。しかし、過度な自粛は経済を停滞させ、結果的に被災地の復興を遅らせることにもなりかねません。少しずつ普段の生活に戻し、募金活動を伴うイベントの開催など、行動することで被災地の復興に役立つように、一人ひとり心掛けましょう。

私たちは自然と共存していく中で、地震などの自然災害に備える必要があります。尊い命を守るため、避難場所の確認や非常食などの常備、隣近所との協力体制の構築など、普段から災害に対する意識を高めていきましょう。

▼問い合わせ 防災安全課防災担当

(内線2000)